

4th.stage

注目KOM、ラッティ(NIPPO)と別府(愛三)の戦いが
This stage's biggest highlight is the fight between RATTI (NIPPO) and BEPPU (AISAN) for KOM.



今大会中、
最難関コース!
果たして逆転の可能性はあるのか!?



門別町をスタートする
Riders waiting for the start in front of the Monbetsu Town Center.



5km地点、ラバネロ、シマノが行く
RAVANELLO and SHIMANO at 5km point.

平取町ホットスポット、清水(都)(BSアンカー)、広瀬(愛三)と入る
Hot Spot at Biratori Town.

1回目の山岳ポイントを別府匠(愛三工業)、ラッティ、阿部良之(シマノ)の順で通過。ペースが上がり、先頭集団からの脱落者も出る中、果敢な攻めで2回目の山岳ポイントも別府、ラッティが1、2位通過する。これによりラッティの総合山岳賞が確定した。

下りで先頭集団は4人となり、メイン集団との差を3分以上にまで広げるが、その後、35秒差まで追いつける。



別府(愛三)
BEPPU (AISAN)



9/18 sun. 門別町～江別市 第4ステージ ロードレース 185km

残り10km地点でリーダージャージを着たラッティが、第1ステージを再現するかのように単独アタック。後続との差を広げる力強い走り逃げ切り、そのままゴールを駆け抜けた。メイン集団のスプリントも、マリウス・ヴィズニアック(NIPPO)が抜け出し、NIPPOは今大会2度目のワンツーフイニッシュを決めた。

2つの山岳ポイントのほかに、2つの上りを含む峻しいコース設定の第4ステージ。冷たい雨が降る中、選手達は大会最後となるロードステージへスタートした。悪天候のコンディションにもかかわらず、序盤から集団では積極的なアタックが繰り返される。まず、第1ステージを制覇したエディ・ラッティ(NIPPO)を含む逃げが決まり、先頭集団を形成。

学生達の
がむしゃらな
走りがレースを熱くしていく。



守屋(明治大)
MORISAWA (Meiji Univ.)

森下(北海道大)
KINOSHITA (Hokkaido Univ.)



朴(韓国)
PARK (Korea)

